

特集 防災の女性力



©2センチ

INDEX

- 01 特集 防災の女性力
茨木の防災現場で活躍する女性たち
- 03 答えは人それぞれ 防災Q&A
- 04 Book Guide
- 05 ローズWAMをよるしく ワムワムキッズパーク
- 06 ワムワムらくご WAM百景 ～発電型エアロバイク～

◆WAM通信47号の題字は茨木市在住 伏木千絵さんの作品です。

WAM相談

予約電話番号 **072-620-9920** ●相談無料 ●一時保育あり(有料・要予約) ●いずれも火曜・祝日は除く

女性面接相談(要予約)	月曜日～土曜日 午前10時～午後4時	仕事なんでも相談	最終木曜日 (※平成27年12月は 第4木曜日) 午後1時～4時
女性電話相談	TEL:621-0892 月曜日～土曜日 午前10時～午後4時	ワムワムよりみち トーク(要予約)	第4木曜日(不定期月) 平成27年8月27日(木) 平成28年2月25日(木) 午前10時～正午
男性のための電話相談	TEL:620-9920 第3・4水曜日 (※平成27年9月は第3・5水曜日、 平成27年12月は第2・3水曜日) 午後6時30分～9時30分	専門家による女性の 生き方・自立相談 (女性のみ・要予約)	第2木曜日 (※平成27年8月、平成 28年2月は第1木曜日) 午後1時～4時30分
女性法律相談 (女性のみ・要予約)	第3木・土曜日 (※平成27年8月は第2土曜日) 午前9時30分～午後0時30分		

ローズWAMを活用しよう

※授乳室あります。

★会議室・ホールを借りる

予約受付時間：午前9時～午後5時(火曜日を除く)

利用時間：午前9時～午後9時30分

180人収容のホール、会議室、和室、料理工場の貸し出しをしています。要予約。毎月初日に抽選。以後、先着順受付。申込方法等詳しくはお問い合わせください。

★印刷工房を利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)

事前に講習会の受講が必要です。

印刷機材利用の実費として、利用料を納めていただきます。

★ネットワークギャラリーを利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)

- 図書・閲覧、図書・啓発ビデオの貸し出し(1人5点2週間)
- インターネットの利用(基本：1人1日30分)
- ビデオの視聴

★交流サロンを利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)

予約不要。無料。

コピー機あります。(白黒のみ・有料)

★喫茶ばーとなー

午前9時30分～午後5時(火曜定休)

開所時間：午前9時～午後10時

休所日：毎週火曜日

保守点検のための臨時休所日

平成27年8月24日(月)

平成28年2月22日(月)

年末年始の休所日

平成27年12月28日(月)～

翌年1月5日(火)まで

編集つれづれ

- 編集、全国で次々と自然災害が発生し、日ごろの備えの必要性をますます感じるようになりました。20年前、阪神淡路大震災で味わった経験も活かしつつ「マイ防災」を考えていきたいです。(おれんじ)
- 平日の午後に災害が発生したら家には子どもたちと私だけ。隣の家には両親とおじいちゃん。災害発生時も被災後も家族を守るために準備しておくこと…今回の編集で考えさせられました。(345)

ホームページアドレス

ローズWAM 検索



<http://www.rosewam.city.ibaraki.osaka.jp/>

Facebook Twitter



編集・発行

茨木市市民文化部 人権・男女共生課

茨木市立男女共生センターローズWAM

〒567-0882 茨木市元町4番7号

TEL 072-620-9920

FAX 072-620-9921

駐車場は中央公園地下駐車場(有料)をご利用ください。



リサイクル適性

この冊子は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は10,000部作成し、1部当たりの単価は20.73円です。

防災の女性力

今年は阪神淡路大震災から20年。震災以後も毎年のように各地で大きな自然災害が発生しています。大きな災害が起こったとき、女性としてできることは？自分の命と大切な人を守るために、いまできることを考えてみましょう。

昨半夏、茨木市でも大雨や台風による避難情報が発令され、災害の危険を身近に感じた人が多かったのではないだろうか。地震や風水害などさまざまな自然災害に対する備えが必要となってきた。

女性と男性とでは災害から受ける影響に違いが生じます。しかしその視点が欠けていたため、東日本大震災においては、避難所によっては衛生用品など生活必需品の不足、着替え場所等、プライバシー確保の問題などが起こりました。その一方で、避難所での暮らし方を工夫し、子どもや高齢者の世話をし、被害を受けた家と片づけをするなど、多くの女性たちが現場で働

き、回復に向けて力を発揮していたそうです。そんな経験から、国の「防災基本計画」には男女共同参画に関する記述が追加され、防災の分野への女性力を期待されています。

いざというとき、男性だけでなく女性も地域や家族などのリーダーになることが必要です。すべての人に安全・安心な災害対応ができるかは、日々の暮らしに根差した知識や能力を活かし、男性だけでは気づかない視点を取り入れた女性の力をいかに発揮できるかにかかっているのです。



地域の防災リーダー

●毎川 百合子さん

平成17年から白川校区自主防災会会長。昨年から茨木市の自主防災組織女性リーダー育成研修会に参加、女性ならではの防災について研鑽を積んでいる。



最近、道で倒れている人を見かけました。近くにいて一番に声をかけてあげていたのは看護師の女性。やっぱりこんな時にふだんの行動や物腰が現れるんですね。災害時も一緒だと私は思っています。生活上で必要なことに女性だからこそ気が付くこともあると思います。

避難所が開設されたときに避難してきた人を受付で応対することを想定して、私の地区では「避難所運営ゲーム」というゲーム形式での訓練を取り入れています。さまざまな年齢・性別・家族構成などが書かれたカードを視覚的に確認する訓練です。心も体も弱っている避難者をやさしく丁寧に応対できるよう日頃から取り組んでいます。そうすることで、非常時に力を発揮できると思っています。

茨木の防災現場で活躍する女性たち



消防士

●林 詩乃さん

消防士に任命され今年で10年目を迎える。現在茨木市に在籍する女性消防士5人のうちの1人で茨木市消防本部勤務。4歳の子どもの母さん。



私たちの街にも防災の最前線で活躍する女性がいいます。それぞれの立場から「女性力」についてお伺いしました。



消防団員

●大西 可恵さん

今年3年目を迎える茨木市女性消防団員の一期生。薬科大に通う現役の大学生であり、国家試験を控え、学業と団員活動に加え就職活動にも奮闘中。



昔から地元の消防団員として活動している父から、茨木市初の女性消防団員募集の話聞ききました。薬学生として、薬の知識だけでなく、災害時に役立つ応急手当を身に

着け、それを市民の方々に伝えることで暮らしの安心に貢献できると考え、応募しました。制服が可愛かったのも理由のひとつです(笑)。

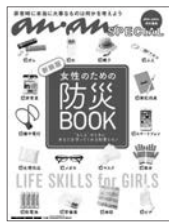
女性消防団員の活動は主に防火、防災に対する市民の方々への啓発活動です。消防フェスティバルなどのイベントに参加したり、ひとり暮らしの高齢者のお宅を訪問し、住宅用火災警報器の説明をすることもあります。

消防団員としての経験を活かして、女性の目線に立った災害時の避難所の環境づくりなどに貢献していきたいと考えています。



防災について参考になる図書を集めました。
1階ネットワークギャラリーにて貸し出しも
しています。

『an-an SPECIAL
新装版 女性のための防災BOOK』
マガジンハウス編、
マガジンハウス 【K1】



◆もしものときはどうするか。
この視点で様々な知恵が詰
まった一冊。「3.11直後のリア
ルボイス」も掲載され、より
実用的になっています。他に
は載っていない女性ならではの
防災グッズの提案が盛りだ
くさん。

『4コマですぐわかる
みんなの防災ハンドブック』
草野かおる 著、
ディスカヴァー・トゥエンティワン 【K1】



◆4コマ漫画でわかりやすい
だけでなく、日頃から注意で
きることが載っているのも便
利なところ。化学繊維の服は
シワにならないけど燃えやす
いとか、水槽からの漏電の危
険とか。防災は日頃から、と
いうことがよくわかります。

『防災かあさん』
みんなの防災部 著、羽鳥書店 【K1】



◆家族の中で、家族全員の
健康と安全を考えているキー
パーソンは誰でしょう？ とい
う問いかけから始まる本。お
家によっていろいろでしょう
が、この本ではお母さんを主
体としています。でもお母さ
んだけでなく、クイズ形式な
ので子どもからおとなまで誰
もが楽しめる内容です。

学生も！子育て中のママも！



東日本大震災以降、
防災意識が高い20～30
代女性の全国的な組織
「防災ガール★」をはじ
め、神戸学院大学社会
防災学科で学ぶ女子学
生の「防災女子」、ママたちが作るママたちのための
支援コミュニティ「Stand for mothers」など、たくさ
んの若い世代の女性グループが防災について考え、活
動しています。

ローズWAMでも、防災に関心が薄い若者や子育て
世代に向けて講座やワークショップを企画していま
す。平成28(2016)年1月17日(日)には防災講座を
予定。詳細が決まり次第、順次お知らせしていきま
す。ぜひご参加ください！

東北の被災ママの声が活
かされた「防災ママブック」
(Stand for mothers発行)
1階ネットワークギャラリー
でご覧いただけます。



茨木市の
防災ハンドブック



市役所南館1階
情報ルームで配布中。
茨木市HPでもダウ
ンロードできます。

もしもの災害にそなえて、日頃から取り組める備え
と、地震や水害など突然の災害時の行動について掲
載されています。家庭で防災について話しあい、書
き込めるメモページもありますので、日頃からの災害
への備えに役立てましょう。



連絡手段は？

災害が起こったら携帯電話は使
用できなくなる可能性が高いで
しょう。家族や大切な人と少しで
も早く再会するために、平日頃か
ら避難場所を決めておくことが大
切です。

- 避難場所を決めていますか？
- 災害時にも安全に通行でき
ると思われる避難経路を決
めていますか？
- 災害用伝言ダイヤルの使い方
を家族みんなが知っています
か？



お風呂・
トイレは？

断水になったらお風呂やトイレ
は使えません。
清潔な衛生状態をできるだけ
保つ事で、ストレスの軽減だけ
でなく免疫力低下による病気発症の
リスクも抑えることができます。

- お風呂に入れないときは？
洗髪は？
- トイレが使えない時はどうし
ますか？
- 歯磨きは？入れ歯のケアは？
- メガネは持ち歩いていますか？



食糧・水の
調達は？

被災時は精神的なストレスで食
欲も減退してしまうもの。しかし
食べなければ体力が持ちませ
ん。「食べる」にも努力が必要な環
境です。災害支援物資だけに頼
るのではなく「食べ慣れた味」も
あるとホッとしますね。

- 3日分の食糧と水の準備は
ありますか？
- 特定の食品が必要な家族
がいますか？(粉ミルクやアレ
ルギー対応食品等)
- ふだん飲んでいる薬は持ち歩
いていますか？



隣近所との
連携は？

もしものときに頼りになるのは
「遠くの親戚より近くの他人」。誰
かとつながっていることの安心感
が大きな支えになるはず。人間
関係が希薄になりがちな都市部
では、特に助け合いを心掛けて
行動しましょう。

- 自治会に参加していますか？
- ご近所の家族構成を知っ
ていますか？
- ご近所に障がい者・高齢
者・小さい子どもがいる家
庭はありませんか？

防災Q & A

答えは人それぞれ

もしも災害が起こったら…何が必至？どこに逃げる？
大切な家族と再会するには？生活や家族構成は人それぞれ。
だから答えも人それぞれ。あなたならどうしますか？

←答えに悩んでしまったあなた！ 左ページへGO！



平成19年(2007年)に始まった「ワムワムらくご」。露の都さん、桂三扇さんを中心に毎月プロの落語家をお迎えして、今年10月でついに100回を迎えます!

第1回から企画に携わってくださっている露の都さんに「ワムワムらくご」への想いをお伺いしました。



1974年、露の五郎兵衛に入門。日本で第一号の女流落語家。古典落語一筋に、女性では難しいと言われた人情噺や怪談噺にも意欲的に取り組む。平成22年文化庁芸術家優秀賞を受賞。

講座をきっかけにローズWAMとのご縁が始まり、落語の定席をもつことになりました。「ワムワムらくご」では、WAMならではの、女性が主人公の演目をやることが多いです。私が演じる女性の登場人物は女性目線で解釈しているので、男性が演じると違うものになるとよく言われるんですよ。毎月の公演だからこそ、初めての演目を挑戦させてもらったりして、私自身の練習の場にもなっています。

落語は「生」。同じ演目でも、客層・客席の空気・ハプニングや聞き手の精神状態でも全く違ってきます。ぜひ「生」で観て欲しいですね。感受性の豊かな小学生にもぜひ来てもらって、聞いて想像する中で、何かを感じて欲しいです。

100回を目指してスタートした「ワムワムらくご」、次は200回を目指してがんばります。

ワムワムらくご

毎月1回第2日曜日午後2時から、ローズWAM地下2階ワムホールで開催。小学生以上の方ならどなたでも観覧可能です。当日受付のみ(先着180人)、入場料500円、一時保育なし。

記念すべき100回目の10月公演は、女性落語家ばかりで大喜利あり、らくごもありの特別公演! 毎月お越しの方はもちろん、初めての方も楽しめます。ぜひ皆さまお誘いあわせのうえお越しください!



わむひゃっけい⑥

～発電型エアロバイク～

エネルギー源は、お腹の脂肪! カロリーをワットに!



WAM 1階にあるエアロバイクをご存知ですか? 自分で漕ぐだけで発電ができるんです!

WAMの人気講座「男が学ぶ・遊ぶ・楽しむ! 講座」でおなじみのお阪樟蔭女子大学・石蔵文信教授が提唱する「原始力発電」。自分で作った電気、スマホを充電してみませんか。(充電ケーブルは窓口でお貸しします。)



エアロバイク発電で災害時の備えと健康の維持を!



ローズWAM
をよろしく

平成27(2015)年度 ローズWAMスローガン

発信: 市民とともに男女共同参画

あなたも私も大切に みんな輝くローズWAM

全国的に火山活動や地震活動が活発化しているように思います。それらの活動が相互に関連しているのかどう



ローズWAM
所長
富崎 敏

かはわかりませんが、地球の活動の歴史からみると、大きな自然災害がいつやってきてもおかしくない状況にあるようです。

自然の強大な力の前では人間はあまりにも無力です。自然災害がやってくるのを防ぐ力は人間にはありません。しかし、自然災害による被害を少なくし、復興につなげていくのは、人間の力です。自然災害に勝つことはできないかもしれませんが、負けないための不断の努力が必要です。

「明日自分のところに来るかもしれない」とわかってはいても一方では「まだまだ先の話」とも思ってしまい、準備を先送りしてしまうこともあるでしょう。まずはできることから行動してみませんか。

ワムワムキッズパーク

遊んで 楽しんで ワムで学ぼう!

★フリーマーケット

★手作り・体験コーナー

絵本作り・ヨガ体験・壁新聞など

★わむっこくらぶ「あそびのひろば」

★人間影絵

「星の王子さま」(ワムホール)

8.22 土

平成27年(2015年)

9:30~17:00

主催・お問い合わせ

茨木市立男女共生センター ローズWAM
TEL 072-620-9920

①11:00~
②14:00~
③16:00~



みんなおいでよ!